



2022年10月11日

各位

会社名 株式会社シー・ヴィ・エス・バイエリア
 代表者名 代表取締役社長 泉澤 摩利雄
 (コード番号 2687 東証スタンダード)
 問合せ先 広報・IR担当 (TEL: 043 - 296 - 6621)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績を踏まえ、2022年4月13日に公表いたしました2023年2月期第2四半期累計期間の業績予想につきまして、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2023年2月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2022年3月1日~2022年8月31日)

	営業総収入	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (2022年4月13日公表)	百万円 3,580	百万円 136	百万円 108	百万円 55	円 銭 11.14
今回発表予想(B)	3,356	△44	△63	△78	△15.80
増減額(B-A)	△224	△180	△171	△133	
増減率(%)	△6.3	—	—	—	
(参考)前期実績	3,716	△126	△143	△229	△46.41

(2) 2023年2月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2022年3月1日~2022年8月31日)

	営業総収入	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (2022年4月13日公表)	百万円 1,336	百万円 75	百万円 54	百万円 37	円 銭 7.50
今回発表予想(B)	1,115	△142	△164	△167	△33.87
増減額(B-A)	△221	△217	△218	△204	
増減率(%)	△16.5	—	—	—	
(参考)前期実績	1,040	△215	△207	△282	△57.33

(3) 修正の理由

個別業績においては、首都圏におけるまん延防止等重点措置が3月中旬に解除されて以降、千葉県内で運営するビジネスホテルにおいては、近隣のテーマパークにおける入園制限の緩和によるレジャー需要の拡大により、売上高は月を追うごとに改善が進みました。一方、期首計画時点においては、インバウンド需要が段階的に改善していくことを想定しておりましたが、一部緩和の動きがあったものの入園制限が継

続され、依然としてコロナ禍前と比較し、訪日外国人観光客数の大幅な減少が続いていることから、平日を中心に稼働率、客室単価が苦戦したほか、7月上旬以降、新型コロナウイルス感染症の再拡大を受け、行動制限は実施されなかったものの、7月中旬から予定していた『全国旅行支援』が延期された影響もあり、宿泊需要の改善が想定を下回ったことで、売上高は未達となり、営業利益、経常利益、四半期純利益においても、計画を下回る見込みです。

連結業績においては個別業績に加え、クリーニング事業では、生活様式の変化によるワイシャツ、スーツ類のクリーニング需要が減少するも、売上高は堅調した一方、世界的な資源価格の高騰や国内物価上昇による燃料・資材費等の高騰を受け、営業利益は計画を下回りました。一方、マンションフロントサービス事業では、マンション内のショップ売上および居住者向けのイベント開催支援などの付帯サービスが、行動制限の解除などを受け、改善が進んだことで、売上高、営業利益ともに、計画を上回りました。

なお、通期の業績予想については、現在精査中であり、決定次第速やかに公表する予定です。本業績予想の修正に伴う1株当たりの配当予想金額につきましては、変更ありません。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。